

大野一雄フェスティバル 2011 を新・港村の円形劇場で開催します。

この劇場は未来の劇場です。和紙の壁は、外と内を堅牢に遮断するのではなく、内部の音と光と出来事を柔らかな波動にして外に伝えます。未来の劇場とは、未来に何かを伝えるための劇場ということでしょう。ここで何ができるかを考え、やってみるために、New Piece Project を立ち上げます。アーティストが劇場に滞在し、作品を創作し発表するプロジェクトです。創作の場も公開します。

Opening Event 9月30日(金) 19:30 開演 会場:新・港村劇場

フェスティバルオープニングです。終演後パーティを催します。皆様のご参加をお待ちしています。

カリーヌ・サボルタ&プロジェクト大山 「Taste of Life Preview」

入場料:BankART Life III 料金(一般300円、大学生250円、高校生200円) 新・港村パスポート、またはトリエンナーレ特別連携チケットでご観覧頂けます。要予約。

IN SITU YOKOHAMA

... Walk / Dream / Experiment / Risk / Question / Doubt
/ Listen / Hear / See / See through / Observe / Deuce ...

からだ と 出会う

生まれた瞬間の動き

Kazuo Ohno Festival 2011

カリーヌ・サボルタ、プロジェクト大山、アオキ裕キ、新人H、レジーヌ・ショピノ、Chang-Nong × TKO from omu-tone、富田大介、藤本隆行、白井 剛、吉本大輔、川口隆夫、平井優子、辺見康孝、ダニー・ユン、ヤン・ヤン、シュ・スーチア、清水寛二、金井圭介、藍木二郎、坂田守、垣内美希、大橋可也 & ダンサーズ、アンサンブル・ゾネ、大野慶人、梅棒、栗田真希、他

2011年9月30日(金)~10月30日(日) 新港ピア/新・港村劇場及び周辺地域

各公演:前売2,800円/当日3,300円 10月22日は前売1,000円/当日1,500円(ワンドリンク付き)

新・港村パスポート、または、トリエンナーレ特別連携チケットをお持ちの方は300円引き、学生・シニア(60歳以上)券、500円割引(学生証等提示して下さい)

フェスティバルパスポート 10,000円 全公演観覧可。記名を頂く方ご本人のみ使用できます。

主催:大野一雄舞踏研究所、BankART 1929 共催:横浜市文化観光局 助成:平成23年度文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 奨励

協賛:香港特別行政区政府駐東京経済貿易代表部、ANA 企画協力:横浜日仏学院(Institut franco-japonais à Yokohama) L'INSTITUT

平成23年度(第66回)文化庁芸術祭協賛公演 協力:慶應義塾大学アート・センター、PARC-国際舞台芸術交流センター

New Piece Project

カリーヌ・サポルタ& プロジェクト大山 「Taste of Life」(命の味)

「ヌーベルダンスの父」と今もフランスで慕われる矢野英征(1943-1988)を巡る作品を制作します。

10月1日[土]/10月2日[日] 19:30開演

演出・出演|カリーヌ・サポルタ & プロジェクト大山

カリーヌ・サポルタ(Karine Saporta)|パ・ノルマンディーの首都カンの振付センターのディレクターを1988年から2004年まで務めた後、自らカンパニー・カリーヌ・サポルタを立ち上げ、パリとサン・ドゥニに拠点を置く。ダンス作品だけでなく、マルチメディア、写真、短編映画などビジュアルアート作品も制作。原始的なダンスと現代の先端的な身体表現を融合することに興味を抱いている。プロジェクト大山|古家優里を中心とした護国寺系ダンスカンパニー。全メンバー女性。全メンバーお茶の水女子大卒。JCDN踊りに行くぞ!vol.8、大野一雄フェスティバル、南仏ニームで開催されるL'EXPERIENCE JAPONAISEなどに参加。2009年横浜ダンスコレクションRにて「審査員賞」受賞。2010年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」受賞。



ソケリッサ!「新世界ワルツ」

路上生活者、路上生活経験者がダンス主体の身体表現作品を制作します。

10月7日[金]/10月8日[土]/10月9日[日] 19:30開演

演出|アオキ裕吉 出演|新人H

新人H「ソケリッサ!」|「ソケリッサ!」は「それ行け!」「前に進む」という意味を持つ造語。メンバーは路上生活者及び元路上生活経験者と演出のアオキ裕吉で構成されている。路上生活者の肉体表現からは何が生まれるのか、この路上生活者が人前に立ちライブをすれば何が見えるのかという視点より2005年から参加者を集め、舞台や路上などで活動を行っている。

ソケリッサ! HP <http://sokerissa.net/>

アオキ裕吉|ダンサー、振付家。変化し続ける「社会、空間」に対しての「自身、対象、踊り」の有り方を追求し、AOKIKAKUとして企画や作品制作振付を行なう。「踊りは誰でもすぐに出来る。」を謳い、ワークショップや、ソケリッサ!のメンバーと共に公演も行なう。04年のNEXTREAM最優秀賞受賞。



レジーヌ・ショピノ

「In Situ Yokohama」(今、ここで)

何かを継承し、創造すること。ではどのように伝えられるのか。レジーヌ・ショピノと対話しながら制作します。

10月15日[土]/10月16日[日] 19:30開演

演出|レジーヌ・ショピノ 出演|レジーヌ・ショピノ、富田大介 他

音楽|Chang-Nong × TKO from omu-tone

レジーヌ・ショピノ(Régine Chopinot)|ヌーベルダンスの70年代創生期から80年代発展期に深く関わり、また硬直した90年代、商業化に向かう2000年以降の流れに抗しつつ生きてきた。1986年から2008年までラ・ロシュの国立振付センターのディレクターを務める。2008年7月より独立したカンパニー、Cornucopiaeを立ち上げた。

Chang-Nong × TKO from omu-tone|打楽器ユニット オムトン(Chang-Nong、わかめーる、TKO)は、2003年の結成以来、マリンパの特徴的な音色を中心に、ジャンベやドラム、コンガ、ピアノなどの様々な打楽器を使い、心地よい音作りを目指して活動中。そのシンプルでミニマルながらも多幸感にあふれる楽曲は多くの人に愛されている。今回は、Chang-Nong × TKOの2人が参加。



©João Garcia

藤本隆行「Node / 砂漠の老人」

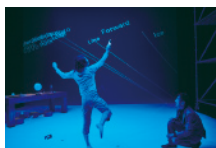
デジタルテクノロジーと舞踏が出会う作品制作のキックオフプロジェクト。ワークインプログレス作品発表とトークセッションを行います。

10月22日[土] 19:30開演

ディレクション・照明|藤本隆行

振付|白井剛 出演|吉本大輔、川口隆夫、平井優子 他 音楽|辺見康孝

藤本隆行|インディペンデントディレクター・照明デザイナー。1987年、ダムタイプに参加。主に、照明並びにテクニカル・マネージメントを担当する。近年は個人的に、海外も含めた多くのアーティストとコラボレーションを行い、LED照明を含めたデジタル・デバイスと人体の高密度の同期化に焦点を当てた、有機的な舞台を構築している。



ズニ・イコサヘドロン「Journey」

ダニー・ユン実験劇場。椅子とテーブルとパフォーマーの身体で空間を構成するOne Table Two Chairs Project。昆劇、能、現代演劇から第一線のパフォーマーが参加します。

10月28日[金]/10月29日[土]/10月30日[日] 19:30開演

演出|ダニー・ユン(榮念曾) 出演|ヤン・ヤン(楊陽)、シュ・スーチア(徐思佳)、清水寛二 他

ダニー・ユン(榮念曾)|1943年上海に生まれ、5歳で香港に移住。カリフォルニア大学バークレー校で建築を学び、コロンビア大学で都市デザインの修士を取得。70年代後半に香港に戻り、実験映画、漫画、コンセプチュアル・アート、インスタレーション、ビデオ、パフォーミング・アーツ等あらゆる芸術分野に関わる活動を展開。1982年Zuni Icosahedronの設立に参加、85年より芸術監督を務める。ヤン・ヤン(楊陽)|江蘇省演芸集団昆劇院団員。2004年江蘇省戲劇学校昆劇科卒業。役回りは小生、武生。江蘇省第三回戯曲紅梅賞銅賞受賞。シュ・スーチア(徐思佳)|江蘇省演芸集団昆劇院団員。98年江蘇省戲劇学校昆劇科入学、04年卒業。役回りは工生旦、五旦。全国昆曲優秀青年俳優コンクールで優秀演技賞受賞。

清水寛二|観世流シテ方能楽師。1953年生まれ。鎮仙会所属。観世寿夫、八世観世鏡之丞(人間国宝)、九世観世鏡之丞に師事。西村高夫と結成した「響の会」での演能活動の他、復曲能や新作能などにも多く参加。重要無形文化財総合指定保持者。



Special Programs

「横浜ダンス界限2011」

街中の様々の空間を活用してダンス公演を行いながら、観客は地図を片手に移動しながら見る恒例のプロジェクト。詳細ルートは当日発表。野外もありますが小雨決行。



©松本和幸

10月10日[月・祝] 13:00開演 12:45までに新・港村で受付をして下さい。

会場|新・港村からみなとみらい周辺の6カ所を予定。ルートは当日発表。

出演|金井圭介、藍木二郎、坂田守、垣内美希、栗田真希 他

「新・港村版 御殿、空を飛ぶ」

1993年新港埠頭の巨大な倉庫三号上屋で行われた大野一雄の伝説的公演「御殿、空を飛ぶ」。今回は新・港村の未来都市バージョンです。監修:大野慶人



©松本和幸

10月23日[土] 19:30開演 会場|新・港村

出演|大野慶人、大橋可也 & ダンサーズ、アンサンブル・ヅネ、梅棒 他

Exhibition

展示「ダンスアーカイブ」

大野一雄舞踏研究所、慶應義塾大学アート・センター土方翼アーカイブ、PARC-国際舞台芸術交流センターがダンスアーカイブ素材を一同に会し、展示を行います。展示の他、アーカイブ事業に関してのシンポジウムやワークショップなども予定。

8月6日[土] ~ 11月6日[日] (8月と9月の木曜日、10/13、10/27は休館) 11:30 ~ 19:00 (金曜の夜は21時まで)

会場|新・港村 入場料|新・港村パスポート、または、トリエンナーレ特別連携チケットでご覧頂けます。



■チケット

入場料金:各公演 前売2,800円 当日3,300円

10月22日は前売1,000円 当日1,500円

学生・シニア(60歳以上)券 500円割引 (学生証等提示して下さい)

※新・港村パスポート、または、トリエンナーレ特別連携チケットをお持ちの方は300円引き
フェスティバルパスポート 10,000円 全公演観覧可。記名を頂く方ご本人のみ使用できます。

■予約・お問い合わせ BankART1929 (新港ピア事務所)

TEL 045-228-8212 FAX 045-664-3353 ohnofes@bankart1929.com

予約はメールにてご来場日・氏名・連絡先を明記の上お申し込みください。(お電話・FAXでのご予約も受け付けています)

「新・港村」公式サイト <http://shinminatomura.com/>

大野一雄舞踏研究所公式サイト <http://www.kazuoohtnodancestudio.com/>

■アクセス 新港ピア 横浜市中区新港2-5

横浜みなとみらい線「馬車道駅」6番出口「赤れんが倉庫口」

万国橋・ワールドポーターズ方面へ新港ふ頭まで直進 徒歩約10分。

■会場間無料バスのご案内 BankART LifeIIIのパスポートまたはヨコハマトリエンナーレ2011特別連携セット券をお持ちの方は、トリエンナーレとの会場間無料バスがご利用いただけます(10~15分毎)。なお最終便は、18:30頃 横浜美術館から新港ピアへ出発する予定です。

